

眼瞼下垂症

大森赤十字病院 形成外科

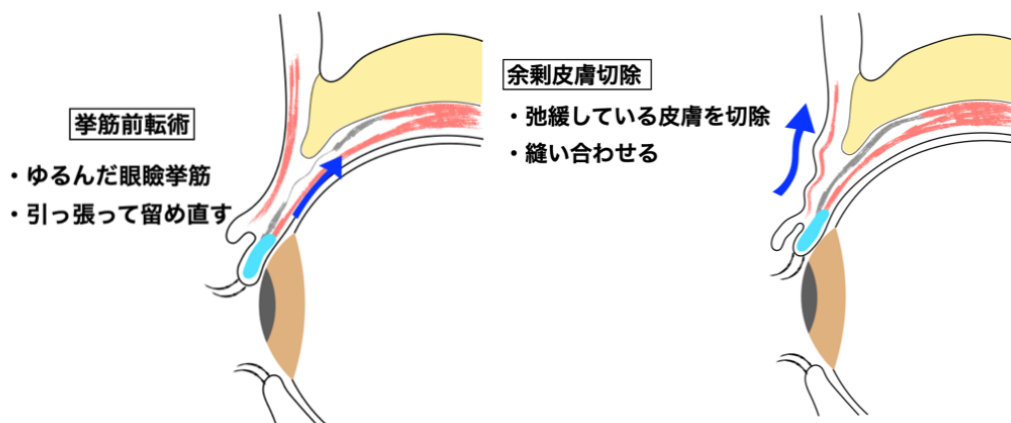
【眼瞼下垂症とは？】

眼瞼下垂症は、まぶたが垂れ下がってきてまぶたが上げずらくなる疾患のことです。症状は、まぶたが重くて視界が遮られる、まぶたを頑張ってあげようとして額にしわが寄る、それによる頭痛など様々です。

原因はほとんどの場合、加齢による皮膚や腱の緩み、コンタクト使用による腱の刺激などです。他には先天性や神経疾患による眼瞼下垂症もあるため、原因を分析して適切な治療を選択することが大切です。

【治療の流れ】

診察・診断・手術方法の決定



手術翌日：創部チェック

1週間後：抜糸

1・3・6ヶ月後：診察

【術後の注意点】

- ・手術当日はなるべく安静に過ごして頂き、術後1週間は飲酒、運動、長風呂はお控えください。
- ・傷跡は徐々に薄くなってきますが、数ヶ月は赤みが出ます。
- ・目元が変わるため、顔全体の印象が変わることがあります。
- ・1回の手術では改善せず、複数回の手術が必要になることがあります。